

網走刑務所 Penal Institution



沿革

- 明治23年 釧路監獄署網走囚徒外役所として開設
- 明治24年 北海道集治監網走分監と改称
- 明治29年 二見ヶ岡構外泊込作業場開設
- 明治36年 網走監獄と改称
- 大正11年 網走刑務所と改称
- 大正13年 住吉構外泊込作業場開設
- 昭和31年 切通構外泊込作業場開設
- 昭和43年 収容区分改正によりB級受刑者を収容
- 昭和48年 施設全面改築工事着工
- 平成5年 施設全面改築工事完成
- 平成16年 拡大整備工事着工
- 平成22年 拡大整備工事完了



▲昭和6年当時



▲今でも続く北山墓地慰霊祭の様子

網走刑務所の概要

所在地：北海道網走市
 収容定員：1,600名
 収容対象：男子受刑者
 (主に刑期が10年未満で、犯罪傾向の進んでいる者)

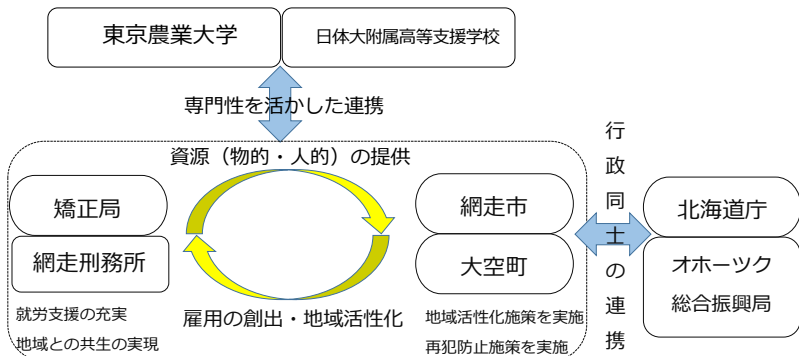
規模：本所敷地(172,265.18㎡)
 二見ヶ岡農場(3,588,884.36㎡)
 住吉農場(現在、泊込・通役中止中)(5,030,792.81㎡)
 切通農場(現在、泊込・通役中止中)(7,575,712.56㎡)

総面積16,409,563.91㎡ **東京都中野区よりも広い面積！！**

地域と連携した取組・地域貢献

【再犯防止推進，地域活性化】

網走刑務所では、平成30年から網走市・大空町などと連携して、網走刑務所が所有する二見ヶ岡農場、住吉農場などの物的資源や刑務作業、出所者、職員などの人的資源を活用した地域における再犯防止推進及び地域活性化に向けた施策の検討を行う協議会を実施しています。



【モンベル社×網走刑務所】

令和元年6月22日、網走刑務所では、受刑者の社会復帰支援や当所の森林資源の活用などを目的としたモンベル社との地域包括連携協定を締結しました。

地域社会との共生も刑務所の大きな役割であるところ、既にアウトドアを通じた地域活性化に向けた取組を行っているモンベル社と連携することで、今後、オホーツク地域の活性化に一層寄与していきたいと考えています。



施設の特徴

【刑務作業，職業訓練】

網走刑務所では、木工・窯業・金属・造林・製材・農業・洋裁等の作業を行っており、大型特殊自動車・ガス溶接・チェーンソー・日本農業技術検定等の資格取得を行っています。



木工

【開放的処遇】

二見ヶ岡農場では、開放的処遇を行い、馬鈴薯、小豆、金時豆、人参、南瓜、大根、玉ねぎ等の栽培をしている耕種農業・全国の刑務所で唯一の畜産農業に従事させ、社会復帰の心構えと一般社会に近い環境を体験させることにより、社会適応性を身に付けさせています。



二見ヶ岡農場

【アイヌ文様を取り入れた刑務作業製品】

コラボ製品であるデニムエプロンは、全国矯正展や各種即売会においても人気の製品であり、社会とつながりが大きい作業として、受刑者もやる気が高い作業の一つとなっています。

一つの製品を制作するに当たって、裁断、印刷、縫製、検品等多くの受刑者が関わり、自分の作業だけではなく、後の工程の作業者のことを考えて作業を実施しています。今後の社会復帰に向けても他人を思いやる気持ちを持ち、日常生活においても刑務作業で学んだことを生かして生活してほしいと思います。



▲エプロン



▲監獄手ぬぐい

所在地

網走刑務所
 〒093-0088
 北海道網走市三眺
 ☎ 0152-43-3167